

たかすっ子

学校だより 第2号
令和3年4月30日発行
千葉市立高洲第四小学校

ギガタブの有効活用

校長 渡辺 基博

子供たちが入学、進級して1ヶ月が経ちます。年度当初に立てた自分の目標に向かって頑張ろうという姿、外で元気に遊ぶ姿が見られるとともに、先生の話をよく聞き、クラスの友達と協力しながら課題解決をする様子も目にします。

4月8日に行われた入学式で、23名の1年生を迎え、128名で、令和3年度のスタートを切りました。入学式後は、1年生を昇降口で迎え、いっしょに教室まで行ったり、ペアで遊んだりする6年生や、1つ上の先輩として、リーダーシップをとって1年生となかよくなれるように頑張る2年生など、1年生が安心して学校に来られるように関わる心温まる姿が見られます。



さて、AIやビッグデータなどの革新技术を、産業や社会に取り入れる新たな未来社会（Society5.0時代）を生きる子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するためには、学校現場におけるICTの積極的な活用が不可欠との観点から、文部科学省では「GIGAスクール構想」の推進を図っているところです。それを受け、千葉市も、今年度から、児童生徒に対し「1人1台端末」及び「高速大容量の通信環境」を整え、新しい学びを本格的にスタートすることとなりました。本校では、5・6年生の算数や理科などですでに活用をしています。自ら操作して体験的な学習をする他、実験を動画で撮影しておき、振り返りに使うなど、タブレットのよさを生かした授業展開を工夫しています。今後、全学年での積極的な使用、家庭に持ち帰っての利用等、有効的・効果的な活用を推進してまいります。

さて、先日の学級懇談会にご多用の中参加していただき、ありがとうございました。また、検温や健康チェック表へのご記入など、感染防止にご協力いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。学級担任から、1年間の学習など、その学年で身に付けさせたいことの説明があったと思います。学校では、担任のもっているそれぞれの良さや強みを生かした学級経営で、笑顔があふれ、子供たちが主役となる学校生活を目指してまいりますので、引き続き、保護者の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

4月は、新しい学年になるとともに、担任が変わったことで、自分の力以上のものを出していたお子さんがほとんどだと思えます。環境の変化や頑張った疲れが、5月になって出てくるともいわれています。学校では、朝の健康観察等でお子さんを見ながら、疲れている様子などが見られましたら、保護者に連絡をいたします。ご家庭でも、気になることがありましたら、担任までご相談ください。コロナの関係で、思うようなゴールデンウィークを過ごせないご家庭も多いと思いますが、連休明けからは、運動会という大きな行事に向けて取り組んでまいります。疲れをとり、また新たな気持ちで5月のスタートが切れるよう、ご家庭でも声をかけていただけると助かります。